



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 トミタ
代表者名 代表取締役社長 富田 稔
(コード：8147 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役総務部長 中村 龍二
(TEL 03-3765-1219)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の業績予想値と 実績値との差異に関するお知らせ

2025 年 8 月 8 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,300	百万円 300	百万円 330	百万円 270	円 銭 52.48
実績値(B)	10,996	373	470	323	62.97
増減額(B－A)	696	73	140	53	
増減率(%)	6.8	24.4	42.6	20.0	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	9,649	345	374	257	49.71

2. 差異の理由

売上高、営業利益につきましては、北米での旺盛な設備投資需要及び日本における自動車メーカー向けの大型案件を主因として、予想値を上回りました。

経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、円安による為替差益の発生により、予想値を上回りました。

当社グループは、主力ユーザーである自動車、建機、事務機器、空調機器、半導体等のメーカー及びそのサプライヤーへ新たな商品や設備の提供を継続し、営業基盤の拡大に努めております。しかしながら、通期の業績予想につきましては、景気は緩やかな回復基調にあるものの、米国の通商政策の動向、中東情勢、為替変動、原材料・原油価格の高騰及び中国経済の減速など不透明な状況にあることから、現時点では 2025 年 8 月 8 日に公表いたしました予想を据え置くことといたしますが、今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

以 上